



▶ 競技会支援システムの2面運用時（複数台使用）、競技結果Web出力システムの運用方法について説明する。

■ 2面運用時の処理方法（1面での使用で、複数台使用の場合も操作は同様）

▷ ファイルの転送モード（Allow Send）

1. 各パソコンのファイルの転送モードは、基幹パソコンのみ「**Allow Send モード**」に設定し、他のパソコンは、設定しないこと。
2. 基幹パソコンはメンテナンス画面にて、「途中経過 Html FPT 情報」を、予め設定しておくこと。




3. その他基幹以外のパソコンには、「途中経過 Html FPT 情報」の内、「User ID」の項目は、必ず設定しておく必要がある。これは、この記述の有無に依って、途中経過 Html のファイルが作られるからであり、忘れずに設定をすること。

▷ Allow Send モード の起動

1. 競技会で「途中経過 Html」を使うならば、支援システムを立ち上げる際に、忘れずに Alt キーを押した上で、「Web 出力」のボタンをクリックすること。その際、認可番号の下に、「**Allow Send**」の文字が表示されている事を、確認しておく。

2. また、実際に転送されるか？を、確認の為に、予め作って置いた QR コードを使って、試しておくことも必要である。



3. 尚、試す場合には、「**Allow Send モード**」が「オン」に成っている事を確かめた上で、「参加確認」と「初期振り分け」の処理画面の入り、何もしないで直ぐに Top 画面に戻る。この操作に依って、空の状態の Html ファイルが、生成される。この操作は、基幹パソコンのみ使用の場合も有効である。



▷ Allow Send モード の実際

1. 支援システムの複数台運用に於いて、参加確認の処理は、基幹パソコンについてののみ、すべきで有る。
また、初期振り分けも同様に、基幹パソコンでした方が良い。
結果として、初期段階の「 途中経過 Html 」が作成される。



2. 実際の競技については、A・Bそれぞれ従属するパソコンで実行される事になる。
実際の所、各パソコンでは、ファイルの転送処理自体は行われないが、ファイルの転送モード設定で、Html ファイルの作成は行われており、基幹パソコンを用いて、転送を実現すれば良いことになる。

▷ Html ファイルの転送

1. 基幹パソコンの「 データ入力 」ボタンをクリックすると、競技選択一覧の画面が表示される。
この画面の右側中央に「 リアル設定 ← モニター 」の表記が有るが、これをクリックすると、リアルモニター画面が現れる。(リアルを使わないときも、設定が必要！)



2. この時に、「 Allow Send モード 」が「 オン 」に成っていれば、Html 転送のボタンが表示され、このボタンをクリックする事で、全てのHtml ファイルが、サイトに転送される。

以上